

飢	餓	を
考	え	る
ヒ	ン	ト

食料価格高騰の影響



はじめに

平和と食料を切り離すことはできません。まず、安全で誇りを持って口にできる食料を生産して食べることは、人間が持つ基本的尊厳であり、万人への実現は平和の原点です。平和という字は、平等に（＝平）、イネ科の米（＝禾）を口にする（＝口）と分解でき、「すべての人々が食料を得られる」を意味すると考えられます。また、第二次世界大戦後の食料不足に取り組むために設立された国連食糧農業機関（FAO）が、麦の穂の下に「FIAT, PAINS」（ラテン語で「万人にパンを」）と書かれたロゴを使用していることから、両者の関係の深さが見てとれます。

戦争や貧困、食料問題のような、人間の尊厳を奪う現象がもっとも露骨に現れている地域の1つはアフリカです。もちろん、全てのアフリカの国々が深刻な問題を抱えているわけではありません。紛争、干ばつ、国際市場における価格乱高下などの影響は地域が限定されるため、「アフリカ＝飢えの大陸」という安易な一般化は避けるべきです。しかし、2008年に起きた食料価格高騰がアフリカに与えた影響は非常に大きく、国内的・国際的な背景を丁寧に分析することが求められていました。

そこで、（特活）アフリカ日本協議会（AJF）、（特活）日本国際ボランティアセンター、（特活）ハンガー・フリー・ワールド、明治学院大学国際平和研究所（PRIME）では、市民のもっと知りたいというニーズに応えるべく、連続公開セミナー「食料価格高騰がアフリカ諸国に及ぼす影響」を開催しました。今後も、アフリカ地域が抱える諸問題や食料問題などを市民とともに考える会を継続していきます。

明治学院大学国際平和研究所（PRIME）元所長 勝俣 誠

第1章 食料価格高騰

米、小麦、トウモロコシ・・・

2008年、ありとあらゆる穀物の価格が史上最高値を記録。
世界20ヵ国あまりで市民による抗議運動や暴動が発生しました。

食料価格高騰はアフリカをはじめとする途上国に住む

貧しい人々の生活に深刻な影響を与え、
世界の飢餓人口はついに9億人の大台を突破しました。

もくじ

第1章 食料価格高騰	3
1 食料の価格はこうやって決められている	4
2 途上国の食料と先進国のエネルギー	6
3 投機マネーが吊り上げる食料価格	8
4 砂漠化が進む地域での食料価格高騰	10
5 都市での生活と食料価格高騰	12
まとめ	14
第2章 飢餓・食料問題の基礎知識	15
参考資料	19

食料の価格は こうやって決められている

板垣 啓四郎 (いたがき・けいしろう)

東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科教授。
専門は開発途上国の農業・農村開発分野での国際協力。

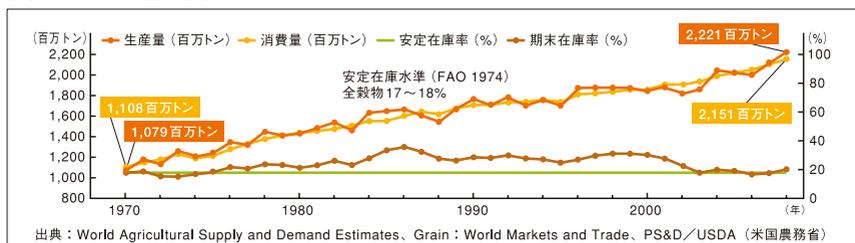


★なぜ、食料価格が突然上昇したのでしょうか？

食料も売り買いされる商品ですので、需要と供給のバランスで価格が決まります。そこで、食料需給の目安となる穀物生産高の推移を調べてみましたが、1970年から2008年までの期間中、最近になって極端に穀物が不足している兆候は見られません。三大穀物と呼ばれる米、小麦、粗粒穀物（トウモロコシ、ソルガムなど）の生産量の合計は、全世界で約22億トン。増え続ける世界の人口に見合うだけのペースで増えていて、2008年は史上最高を更新しました。確かに、全穀物合計の期末在庫率は17～18%と価格安定を保てるギリギリのラインに近づいてきていますが、価格が極端に高くなるほどではありません。このように、需要と供給の観点からは食料が不足して価格が高騰したとは言い切れません。

では、なぜ「高騰」と呼ばれるほど価格が急激に上昇したのでしょうか。鍵を握るのは食料の個性です。まず、小麦やトウモロコシなどを例外に多くの穀物は生産国内で大部分が消費され、国際市場で取引される量は限られるため、少しの流通量の変化で国際価格が大きく変動しやすいという性格を持ちます。また、小麦やトウモロコシの場合、米国、カナダ、オーストラリアなどの大量生産国における生産量の増減が国際価格に大きく影響します。

世界の穀物生産量の推移



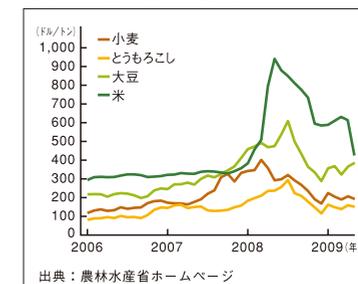
食料の生産・流通に大きな影響力を持つのが、穀物メジャーと呼ばれる巨大多国籍企業です。2008年、穀物メジャーは原油価格の高騰を受けて、食用からバイオ燃料生産用に作付けをシフト。その結果、食用として流通する食料が相対的に目減りしました。このような生産・流通に関わる事柄に加えて、食料を商品市場で売り買ひして利ざやを稼ぐ投機マネーが市場に流入したこと（第3章参照）が、食料価格高騰の原因だと私は分析しています。

★貧しい人々への影響が大きいと聞きました。

先進国にも影響がないわけではありませんが、食料を輸入に頼る途上国、中でも貧しい人々が特に大きな影響を受けています。途上国の貧しい人々が食料に使う支出の割合は、全支出の60～80%。そのため、価格が少し上昇しただけで、質量の両面で十分な食料を入手できなくなってしまうのです。

では、食料の価格は安ければ安いほどいいのかというと、そうではないのがこの問題の難しい点です。米国のような農業大国の政府が大量の農業補助金を投入して、途上国向けに安価な農産物を大量に輸出するとどのようなことが起きるか。労働力や土地などの資源が割安な途上国で生産した農産物よりも米国から輸入される農産物の方が安いいため、人々は輸入産品を買い求めます。その結果、途上国の農民は市場に農産物を出荷することができずにやがて生産意欲を失ってしまいます。しかし一方で、途上国に輸入される食料があまりにも高くなってしまうと、実際に不足している食料が手に入らなくなり、貧しい人々は飢餓に苦しんでしまうことになります。

世界の農産物価格の動向



今後の提言

今の世界のしくみでは、穀物の価格が安くても高くてもアフリカの人たちに深刻な問題が発生してしまいます。改善するためには、アフリカの農民自身が経営権を持ち、土地や水などの資源へのアクセスできることが大切です。現場での支援とともに、各国のリーダーたちにしくみを改善するように働きかける必要があると認識し、問題解決に取り組む必要があるのではないのでしょうか。

途上国の食料と 先進国のエネルギー

稲泉 博己 (いないずみ・ひろき)

東京農業大学国際食料情報学部国際バイオビジネス学科准教授。
専門は農業普及教育。



★燃料を作るために生産される作物があると聞きました。

バイオ燃料には、薪や乾燥したふんなどの伝統的な燃料と、生物由来の資源（バイオマス）から作られるものの二種類があります。食料との競合が問題になるのは、サトウキビ、トウモロコシ、大豆などから作られるバイオ燃料です。食料作物から作られるバイオ燃料は、サトウキビやトウモロコシなどの植物を発酵・蒸留して作られるバイオエタノールと、大豆やアブラヤシの油から作られるバイオディーゼルの二種類に分類することができます。価格が高騰する石油に代わる安いエネルギーとして、今、世界がバイオ燃料に注目しています。

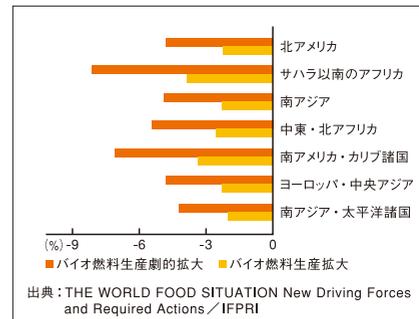
バイオ燃料が注目されている理由は、価格が安いからだけではありません。植物から生産されるため、地中に蓄積された資源を消費する石油とは違い繰り返し生産し続けられる、地球温暖化の防止につながる、バイオ燃料のための植物を途上国で大規模に生産することによって貧しい人々が現金収入を得られるようになる、などのメリットがあるとされているためです。一方で、途上国で多くの人々が飢餓に苦しむ中で、先進国の車を走らせるために食料を使うことが正しいのかどうかという倫理的問題や、食料作物以外の作物

食料と砂糖の国際価格の変動予測（2020年まで）

作物名	バイオ燃料 生産拡大	バイオ燃料 生産劇的拡大
キャッサバ	11.2	26.7
メイズ（トウモロコシ）	26.3	71.8
油料種子	18.1	44.4
砂糖	11.5	26.6
小麦	8.3	20.0

出典：THE WORLD FOOD SITUATION New Driving Forces and Required Actions / IFPRI

カロリー摂取量の変動予測（2020年まで）



から生産する場合でも、貴重な土地や水は食料のために使われるべきというような、大規模なバイオ燃料の導入に慎重な意見も決して少なくありません。

しかし、世界有数の食料生産大国アメリカは、ブッシュ大統領（当時）の下で2007年12月に「エネルギー法」を制定。2022年までのバイオ燃料導入目標を定めるなど、バイオ燃料の利用拡大に積極的な姿勢を見せています。また、日本も「バイオマス・ニッポン総合戦略」を閣議決定して輸送用バイオ燃料使用促進の姿勢を明確に示すなど、バイオ燃料の導入に前向きです。

★バイオ燃料の供給源とされるアフリカ側は、 どのような立場なのでしょう？

アフリカ諸国でバイオ燃料生産を促進する強い政治的意志が働いていることは事実です。バイオ燃料生産のための作物を安定して供給するためには、農業の大規模化が必要不可欠。そのための法整備や耕地整理をきっかけに、所得や成長が低いまま停滞している現状の農業を打破したいという思惑があるのです。

では現実的にアフリカで大規模なバイオ燃料生産が可能かということ、現実にはそう甘くないように思えます。まず、豊富とみられている土地や水はすでに食料作物生産のために活用されているため、生産段階で競合します。また、都市に滞留している労働者を雇用して労働力をまかなえるという意見がありますが、雇用するためには訓練が必要でそのための機会と費用は決して小さくないでしょう。さらに、バイオ燃料が注目を浴びるきっかけとなった地球温暖化の影響が、アフリカではすでに大きく出ていることも忘れてはいけません。

このような状況でバイオ燃料生産を進めた場合、食料作物の生産に影響が出ることは避けられず、国内の食料供給に支障が出る可能性があります。だからといって食料作物の余剰分でバイオ燃料を生産しようとしても、供給が不安定で事業を成り立たせることはとても難しいと思います。つまり、アフリカでのバイオ燃料生産は今のところ不安定要素が多すぎるのです。

今後の提言

日本など先進国の温暖化防止には効果的だとしても、バイオ燃料生産国の環境や社会経済を破壊してしまうとしたら、本末転倒です。国内外で十分な議論・検討を重ねて、食料生産とのバランスを維持できるそれぞれの国にあったガイドラインを整備、法制化することが必要だと思います。

投機マネーが吊り上げる 食料価格

田中 徹二 (たなか・てつじ)

オルタモンド事務局長。

国際連帯税を推進する市民の会 (アシスト) 共同代表も務める。



★投機マネーと食料の価格がどのように関係しているのでしょうか？

投機マネーとは、モノを購入したりサービスを受けるために使われるのではなく、資金を短期的に増やすことを目的に、株や為替などの金融市場や、原油や穀物などの商品市場で取引されるお金のことです。「投機」とよく似た言葉に「投資」がありますが、投じたお金が何らかの経済活動に役立ってその見返りとして利益を得る取引を「投資」と呼び、短期的な機会を重視して値上がりや値下がりによる利益を中心に考える取引は「投機」と呼ばれます。このような「お金でお金を生むための活動」の規模はとても大きく、実際に使うお金の約 42 倍もが投機を目的に使われています。

食料価格高騰に特に関係が深いのはインデックスファンドと呼ばれる、商品市況指数 (インデックス) に連動して価格が上下する金融商品です。商品市況指数の対象となるのは、原油や天然ガスなどのエネルギー源や、鉄や金などの鉱物資源、そして大豆や小麦を始めとする食料資源などです。これらの商品市場に石油や食料を買い求める資金が一気に、かつ大量に流入したことで食料価格や原油価格が高騰したと考えられます。

商品市場に投じられる資金が急激に増えた理由は、米国におけるサブプラ

ヘッジファンドとインデックスファンド？

●ヘッジファンド 機関投資家や富裕層などの資金で成り立ち、一般公募されることはない。先物取引、オプション取引、スワップ取引などさまざまな金融派生商品を駆使して利ざやを稼ぐ。

●インデックスファンド 公募によって広く一般から小口の現金を集めることで、大規模な資金を形成する。商品市況指数 (インデックス) の上下を利用して利益を出すことを目指す。



イムローンの破綻をきっかけに発生した株とドルの同時安によって、行き場をなくした資金が商品市場に大量に流入してきたことです。その結果、原油と穀物の価格が一気に上昇。原油では 33 ~ 44% (史上最高値更新時には約 70%)。2009 年 5 月の分析による) が、トウモロコシでは約 42% が投機マネーによる価格上昇だと分析されています。

★投機マネーを規制する有効な対策はあるのでしょうか？

市場に資金が流入する段階と、実際に取引が行われる段階の二段階で規制を設ける必要があると思います。資金が流入する段階では、米議会などで議論されている投機筋の証拠金上積みと持ち高制限という 2 つの取り組みが有効です。ただし、この規制が有効に機能するためには前提が付きまします。それは、投機マネーの主役でありながら、投機筋に分類されていないインデックスファンドをきちんと投機筋に分類することです。そうしないと、この規制はヘッジファンドにしか適用されず、インデックスファンドによる食料価格高騰の抑止力にはなりません。

実際に取引が行われる段階では、通貨取引税の導入が有効です。各国にある商品市場には、世界中から資金が集まってきますが、国境を超えてお金を移動するためには必ず通貨取引が必要です。この通貨取引にきわめて低い率の国際的な税金を課してマネーゲームを縛るとともに、税收を途上国の支援や環境対策に活用するというわけです。

2008 年 7 月に米議会で「エネルギー市場における過剰な投機を抑制する法律案」が提出されると、法案が成立していないにもかかわらず原油や穀物の価格は急落し始めました。この価格変動から証明できるのは、やはり原油や食料価格高騰の原因に投機マネーは多大な影響を及ぼしていること、規制を設けることで状況を改善できるということです。今後はこれらの規制を具体化し、実現することが求められます。

今後の提言

2008 年 11 月に『「国際連帯税」東京シンポジウム 2008 ~ 日本での実現をめざして! ~』を実施。このイベントを経て、2009 年 4 月に国際連帯税を推進する市民の会 (アシスト) が設立されました。ホームページで国際連帯税に関する情報を発信しています。今後の動向を見守ってください。

URL <http://www.acist.jp/>

砂漠化が進む地域での 食料価格高騰

岡本 敏樹（おかもと・としき）

緑のサヘル代表理事。1997年に緑のサヘルに参加。
チャドプロジェクトの現地責任者を経て、代表理事に就任。



★砂漠化が進むとどのような影響があるのでしょうか？

砂漠化を考えるにあたっては、2つの目を持つことが大切です。まず環境への影響という視点から考えると、砂漠化とは植物が育ちにくい土地が広がることを意味します。このような環境の変化が生じると、その土地に暮らす人々が今まで通りの生活を送れなくなる。これが、砂漠化を考えるために必要もう一つの視点、人々の生活に与える影響です。

私たちが活動している国の1つ、西アフリカのブルキナファソで、自給自足の農業によって生活を営む家族が耕す農地は平均約2ヘクタール。男性はミレット（トウジンビエ）やソルガム（モロコシ）などの穀物を、女性はトマトやオクラ、キャベツなどの野菜を主に生産していて、草刈り、種まき、収穫、運搬といった全ての工程は手作業で行われています。

乾期と雨期で気候が大きく異なるブルキナファソでは、農作物を栽培できる期間が限られています。そのため、収穫した農作物を保存するわけですが、面白いのは野菜の保存方法です。乾燥トマトは想像できるでしょうが、なんとオクラやキャベツまで、実に多くの種類を天日で乾燥させます。乾燥させることで長期保存が可能になり、販売するチャンスが広がるのです。家庭でも、乾燥野菜は農作物が不足する時期の貴重な食材として活躍しています。

ブルキナファソで食べられるさまざまな雑穀



乾燥キャベツ



★農村でも食料価格高騰の影響は見られますか？

都市部と比べて、農村部には食料価格高騰の影響がそれほど大きく出ていません。なぜならば、農村部で主食として食べられているミレットやソルガムなどの穀物は輸出入マーケットであり出回っておらず、ほぼ完全に国内で自給されているためです。ただ、塩や油などの生活必需品の価格高騰は農村部にも影響しています。また、石油価格高騰の影響で輸送費用が大変高くなっています。

一方で都市部では、輸入に頼る割合が高い米を扱うレストランを中心に、食料価格高騰の影響がはっきりと見てとれます。このことから、グローバル化の中で主に貿易によって食生活が支えられている場合に、世界的な食料価格高騰と地域の人々の生活が密接に関連するといえると思います。

食料価格高騰の影響が都市部に比べて小さいとはいえ、農村部に十分な食料があるわけではありません。そこで、農村部ではさまざまな工夫をしています。その1つは食べ方の工夫です。例えば、穀物を粉にしてお湯を入れる「ドーナ」という料理があります。お米を普通に炊くよりも、お粥や重湯にした方がかさが増えるように、大量のお湯でかさが増してお腹がいっぱいになるというわけです。農村部の人々は、あらかじめ食料が不足することを考えて生活しているようにも思えます。

しかし、このままでは食料が行き渡らない人や、栄養不足の人が増える危険があると私は感じています。状況を改善するためには食料の増産が必要で、農業生産性の向上と購買力の強化が求められています。その際には、画一的なプログラムではなく、現地の状況や人々の生活にあわせた支援を行うことが重要です。

水分が抜け切った乾燥トマト



今後の提言

水資源が少ない現地では、多くの収量が得られる品種よりも、栽培にかかる日数が短くてすむ品種が求められています。このように、現地の状況に応じた農業生産性向上のための支援を行うとともに、どのような支援が必要なのかを発信していきたいと思っています。

都市での生活と 食料価格高騰

鈴木 裕之 (すずき・ひろゆき)

国士舘大学法学部現代ビジネス法学科教授。「アフリカのストリート・ボーイと音楽」をテーマに、ストリート文化と音楽の関係を研究。



★食料価格高騰は、アフリカの都市に暮らす人々に 影響を与えていますか？

都市に住む人々の生活を知ることで、食料価格高騰の影響が見えてくるはずです。そこで、私が長年研究してきた、コートジボアールの首都アビジャンに生きる、ストリートボーイと呼ばれる若者たちの生活をご紹介します。

ストリートボーイとしての人生が始まるきっかけは、教育からの転落です。小学校で脱落することも多く、10歳前後の少年もめずらしくありません。呼び名とは異なり、彼らの多くは友達や兄弟などの家を生活の拠点にしている、路上で寝泊りしている若者は、彼らの中でも一段下に見られています。正確な統計はありませんが、アビジャンでは数千人のストリートボーイが暮らしていると思われます。

年齢に関係なく、ストリートボーイが都市で生き抜くためには、何らかの経済活動を行って現金収入を得る必要があります。都市は農村に比べて物価が高いということもありますが、何よりも食料を自給できる農村とは異なり、都市で食料を入手するためには購入するほかに方法がないためです。靴磨きやバス停留所での旅客案内、車見張りなどの合法的な手段を選ぶ若者がいる一方で、麻薬の密売やスリなどの非合法的な手段を選ぶ若者たちもいます。彼

アビジャンのストリートボーイたち



らにとってはどちらも経済活動に変わりはないのですが、その中で法に触れるものが世間から「犯罪」と呼ばれるわけです。

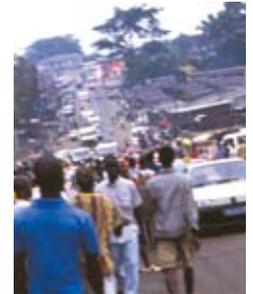
★アビジャンの食事情を詳しく教えてください。

4割が移民という事情を反映してか、アビジャンにはとてもたくさんの選択肢があります。南部出身者が好むヤムイモや青バナナを餅のように搗いて食べる「フトゥ」や、乾燥地域出身の人々が口にするお米や雑穀など、それぞれの嗜好に合った食べ物を手に入れることができます。出身地に関係なく共通して食べられているものは、フランスパンです。旧宗主国フランスの影響を受け、驚くほど味がいい。小麦はすべて輸入品ですが、政府の価格調整によってフランスパンは安値で安定しているため、幅広く食べられています。

アビジャンのもう1つの特徴は、収入に応じた食を選択できることです。日本に置きかえて考えると、300円でも、500円でも、1000円でも、もっと高い金額でも昼食を取ることができる、そんなイメージです。内容だけではなく、価格の選択ができるからこそ、ストリートボーイのように収入が少なく、安定しない若者たちでも、うまくバランスを取って生活することができます。

ストリートボーイの典型的な一日は、朝が来ると小銭を稼ぐために家を出て経済活動を営み、人によってはレゲエやラップなどを歌ったり、友達と遊んだりして、夜になると家に戻るといったもの。ずいぶんひどい生活を送っているように感じるかもしれませんが、私たちの想像と現実とは少し異なります。「俺たちは与えられた範囲の中で人生を楽しんでいるんだ」と、私の友人が誇らしげに語るように、食料価格高騰などの現実に対応しながら、彼らは意外とたくましく生き抜いているんですよ。

人と車が行きかう道路で
さまざまな経済活動が行われる



今後の提言

途上国の問題を考えるとき、私たちは貧困やストリートチルドレンのように暗い部分のみを強調する傾向があります。しかし、現実には独自の文化を創ってたくましく生きている人々がいます。解決策を練る際に、彼ら彼女らがどのような生活をしているかを考えることも大切ではないでしょうか。

まとめ

2007年から2008年にかけて穀物の生産量が史上最高を更新する中で、世界中の食料価格が高騰しました。影響をもっとも大きく受けたのは、食料を購入するための十分な収入のない人々、中でもアフリカをはじめとする途上国の貧しい人々です。なぜ、食料価格がこれほどまでに高騰したのか。私たちは、2008年7月3日を皮切りに連続公開セミナー「食料価格高騰がアフリカ諸国に及ぼす影響」を5回にわたって実施して考察を試みました。

これらのセミナーを通じて、「食料が目の前にあるにもかかわらず、手に入れることができない人々」が現実には数多く存在するというのを私たちは学びました。また、飢餓の原因は複雑多岐に渡るため、今回取り上げた5つのテーマは飢餓を考えるための全てではなく、考えるためのヒントに相当するものだと考えています。

食料価格高騰の報道はすっかり鳴りを潜めています。しかし、経済・金融危機によりさらに多くの人々が飢餓や貧困に直面すると警戒されています。また、水と食料安全保障、食料増産と土地の問題、食料危機の影響を受ける母子の栄養状態、気候変動の影響、HIV/エイズ孤児など親を失った子どもたちの食料確保、家庭内での食料分配など、考察が必要なテーマは数多く残されています。私たちは、今後もこれらのテーマでセミナーを開催していきます。特に関心のあるテーマがありましたら、ぜひご連絡ください。

(特活) アフリカ日本協議会 (AJF) 事務局長 斉藤龍一郎

連続公開セミナー「食料価格高騰がアフリカ諸国に及ぼす影響」

- 【実施概要】 【第1回】 2008年7月3日 (90名参加)
「なぜ高騰する食料価格 食料価格はどのように決まるのか？」
【第2回】 2008年7月17日 (52名参加)
「バイオ燃料推進と食料価格高騰の関係」
【第3回】 2008年7月31日 (56名参加)
「投機マネーと食料価格 今、必要な取り組みは何か？」
【第4回】 2008年10月9日 (30名参加)
「砂漠化に直面する人々にとって食料価格高騰問題」
【第5回】 2008年12月5日 (26名参加)
「アフリカの都市での生活と食料問題」

【共 催】 (特活) アフリカ日本協議会 (AJF) <http://www.ajf.gr.jp/>、(特活) 日本国際ボランティアセンター (JVC) <http://www.ngo-jvc.net/>、(特活) ハンガー・フリー・ワールド <http://www.hungerfree.net/>、明治学院大学国際平和研究所 (PRIME) <http://www.meijigakuin.ac.jp/prime/> *団体名 50音順

第2章

飢餓・食料問題の基礎知識

食料価格高騰によって急増した世界の飢餓人口。

では、現在ではどのような状況なのでしょう。

数字とデータから飢餓の現状を考えてみてください。

1 飢餓とは？

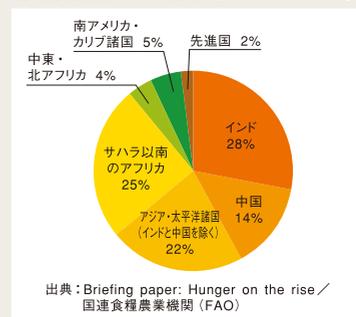
飢餓とは、食料を十分に手に入れることができず、慢性的な栄養不良になることです。栄養状態を判断する一つの基準が基礎代謝率 (Basal Metabolic Rate=BMR) があります。BMR とは、人間が生命を維持するためだけに最低限必要な食事エネルギーのこと。ただし、生命を維持するだけではなく、健康で社会的な活動を行うために十分な食料を得られるべきという考えから、FAO では、食事エネルギー摂取量が BMR の 1.54 倍に満たない人々を栄養不良と判定しています。

BMR は個人の体重や年齢によって異なる値が定められています。また、成長期の子どもには適用できないため、10 歳以下の子どもについては BMR とは別に体重 1 キログラムあたりの食事エネルギー必要量が定められ、それに満たない状態を飢餓と判断します。

2 世界の飢餓人口

世界では 9 億 6300 万人が飢餓に苦しんでいて、その約 95% は開発途上国に住む人々です。地域別に見てみると、飢餓人口がもっとも多いのはアジアの 5 億 8300 万人です。サハラ以南のアフリカでは 2 億 3600 万人と人数こそアジアを下回るものの、人口あたりの割合は世界でもっとも高く、3 人に 1 人が飢餓に苦しんでいます。飢餓人口はインド、中国、コンゴ民主共和国、バングラデシュ、インドネシア、パキスタン、エチオピアの 7 カ国で特に多く、その合計は世界で飢餓に苦しむ人々の 65% に相当します。

地域別飢餓人口の割合 (2003～2005 年)

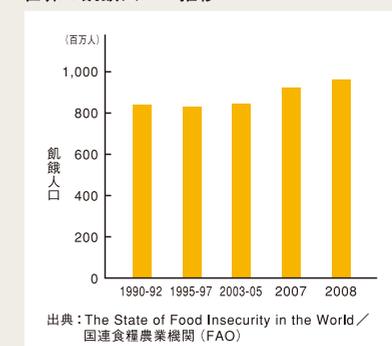


3 世界の飢餓人口は増えている？減っている？

飢餓に苦しむ人々の数は、減るどころか増えているのが現実です。

1990-1992 年の飢餓人口は 8 億 4200 万人でした。その後、飢餓人口は 8 億 3200 万人 (1995-1997 年) に一度は減少しましたが、8 億 4800 万人 (2003-2005 年)、9 億 2300 万人 (2007 年) と再び増加。さらに食料や原油価格の高騰、地球温暖化などの影響を受け 2008 年は 9 億 6300 万人に。世界の飢餓人口は増え続けています。

世界の飢餓人口の推移



4 飢餓の終わりは世界の約束

飢餓人口は増え続けているものの、世界では飢餓を終わらせる意志を示すさまざまな約束がリーダーたちによって交わされています。例えば、開発途上国と先進国が協力しあって貧困のない世界を実現するためのグローバルな目標「ミレニアム開発目標 (MDGs)」には、「2015 年までに飢餓人口を半減させる」という目標が掲げられています。また、国連食糧農業機関 (FAO) が 1996 年に開催した世界食料サミットでも、途上国と先進国の代表者たちは同様の宣言を採択しています。今必要なことは、さらなる約束を作ることではなく、これらの約束を実行して飢餓に苦しむ人々を 1 人でも少なくすることです。

ミレニアム開発目標 (MDGs)

先進国と開発途上国の代表者たちがともに協力しあい、貧困のない世界を実現するためのグローバルな目標。2000 年 9 月の国連ミレニアムサミットで採択された「国連ミレニアム宣言」にもとづいて、これまでの開発目標が統合され、貧困問題や教育、医療など 8 つ分野ごとの具体的な数値目標を定め、2015 年を期限として実現を目指しています。

- 【目標 1】
とてつもない貧困と飢餓をなくそう
- 【目標 2】
みんなが小学校に通えるようにしよう
- 【目標 3】
ジェンダーの平等を進めて女性の地位を向上させよう
- 【目標 4】
子どもの死亡率を下げよう

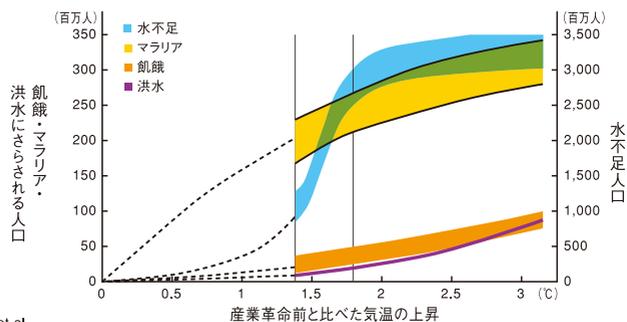
- 【目標 5】
女性が健康な状態で妊娠し、子どもを産めるようにしよう
- 【目標 6】
HIV/エイズ、マラリア、その他の病気が広がるのを防ごう
- 【目標 7】
環境の持続可能性を確保しよう
- 【目標 8】
世界の一員として、先進国「も」責任を果たそう

5 飢餓と地球温暖化の関係

20世紀から21世紀にかけて、地球の気温は0.74℃上昇しました。これは、私たちが石炭や石油をたくさん消費して二酸化炭素をたくさん排出するようになったためといわれています。温暖化によって特に大きな影響を受けるのが、赤道近くにある開発途上国です。元々気温が高く、乾燥することが多いこれらの国々では、農作物の多くがさらなる温度の上昇に耐えられないためです。同時に心配されているのが、温暖化による水不足。中でも、アフリカで自給自足の生活を営む農民のほとんどは水源を雨水に頼っているため、特に深刻な影響を受けるといわれています。

36億人が温暖化の影響を受ける

産業革命の前と比べて平均気温が2℃以上高くなると、2080年の時点で飢餓、水不足、マラリア、洪水の危険にさらされる人々は36億人にも達する。



出典：Millions at risk / Parry et al

6 飢餓と日本の食生活の関係

豊かな食文化を持つ一方で、食べ残し大国という顔も持つ日本。家畜のエサとして使われる分を除いた、1年間の食料消費量約9000万トンのうち、廃棄されるのは約1900万トン。この中には食べられるはずの食料が最大900万トンも含まれると推測されています。世界で1年間に行われる食料援助量は750万トンです。40%という低い食料自給率が示すように、日本の食生活は多くの国々に支えられてこそ成り立つものです。私たちは、「お金を払って買っているのだから何をしても構わない」のではなく、食べ手としてのモラルを持つ必要があるように思えます。

参考資料

飢餓・食料問題についてより詳しく知りたい方は、以下の書籍やホームページもご覧ください。

【書籍】

The State of Food Insecurity in the World 2008 (英文)

国連食糧農業機関 (FAO)、2008年

飢餓の現状や食料価格高騰の影響などが詳細に記されている。FAO ホームページから全文ダウンロード可能。

アフリカの食料安全保障を考える

斉藤龍一郎・田中清文・吉田昌夫編、2008年

(特活) アフリカ日本協議会 (AJF) の食料安全保障研究会が2001年から開催してきたセミナーを元に、アフリカの飢餓や多様な営農体系、WTO 農業交渉などについてまとめ、問題を提起。配布希望は AJF (info@ajf.gr.jp) まで。

絵でみる 食糧ビジネスのしくみ (絵でみるシリーズ)

榎本裕洋・安部直樹・柴田明夫、2008年

食料と食糧の違いや実際の取引について、10年後の市場予測などをイラストとともに説明している。

食糧争奪

柴田明夫、2008年

大手商社で国際商品市場分析に携わってきた著者が、グローバルな食料需給や中国の食事情の変化などから現在の世界の食料事情を描き出す。

まんがで学ぶ開発教育 世界と地球の困った現実

— 飢餓・貧困・環境破壊

日本国際飢餓対策機構、2008年

使われている表現がやさしく、小学生程度の子どもと一緒に読むこともできる入門書。

【ホームページ】

国連食糧農業機関 (FAO) <http://www.fao.or.jp/>

The State of Food Insecurity in the World を含む各種報告書がダウンロードできるほか、世界の飢餓や食料問題に関する最新の情報を配信。ローマ本部のホームページ (<http://www.fao.org/>) では、さらに豊富なデータが入手できる。

農林水産省 <http://www.maff.go.jp/>

世界の食料需給や価格の推移、日本の食料自給率のほか、店舗や家庭で廃棄される食料を計測した「食品ロス統計調査 (世帯調査、外食産業調査)」など豊富なデータを公表している。

飢餓を考えるヒント 食料価格高騰の影響

2009年5月31日発行

発行者 (特活) アフリカ日本協議会 (AJF)
(特活) 日本国際ボランティアセンター (JVC)
(特活) ハンガー・フリー・ワールド

編集人 笠原由晶 ((特活) ハンガー・フリー・ワールド)

制作 浜井美歩 (ボランティアスタッフ)

[本書に関するお問合せ先]

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-13 山商ビル7階
TEL 03-3261-4700 FAX 03-3261-4701
E-MAIL hfwoffice@hungerfree.net
URL <http://www.hungerfree.net/>

